

令和 6 年度 第 1 回 経営協議会報

日 時 令和 6 年 6 月 2 0 日 (木) 1 3 : 3 0 ~ 1 5 : 4 0 (オンライン会議)

令和 6 年 3 月 1 3 日開催の令和 5 年度 第 4 回 経営協議会議事要旨 (案) について確認があり、了承された。

審 議 事 項

(1) 令和 5 年度業務実績等報告書について

木暮理事から、資料に基づき提案説明があった。

学外委員との間で以下のような質疑応答があった。

○計画 4 2 の南米沖縄県系人留学生支援制度の創設において、毎年 2 名を受け入れるとなっているが令和 6 年度の受け入れが 1 名となっているのは、何か理由があるのか。

→候補者は 2 名だったが、うち 1 名が辞退したため、1 名の受け入れとなった。

○奨学金返済の学生支援に関して、内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局では地方公共団体における奨学金返還支援の取組を推進しているが、本報告書に記述がない。琉球大学からは県や市町村へ当該取組に関する働きかけを行っているのか。

→早急に情報を集めて取り組みを進めていくようにしたい。

○計画 3 8 に記載の琉ラボの設置に関して、今後期待している効果を教えてほしい。

→基本的にはスタートアップを創出する場となっており、講習やコンペティションを行っている。同時に、地域に開かれた場として、様々な企業にラボに入ってもらおうオープンスペースとしている。また、学生・教職員が集う場となっていることで新たな風が吹き込まれたということが成果としてあり、今後さらに強めるべきことと感じている。

○農水一体型物質循環式陸上養殖システムに関しての記述がない。産学共創の観点から現在の進捗を伺いたい。

→現在、数十社の民間企業と共同で様々な側面からの研究、国際展開を行うという方向で活動を行っている。かなり成果が上がっているため何かしらの形で示したい。

○研究のパートで評価がⅡとなっている計画では、産学官連携が芳しくないことが共通のポイントとなっていると思われる。教員が外部組織との積極的な情報交換や企業の現場へ足を運ぶ機会が減っていないか懸念している。

→産学連携が芳しくないのは指摘の通りだが、琉ラボが一つの突破口になっている。また、おきなわスタートアップ・エコシステムに積極的に参加し、民間と学術的な成果を結びつける形で接点を持ちつつある。今後、学内組織の拡充を行い対応したいと考えている。

→連携協定を締結した県内大企業との連携を模索していること、DX 推進の一環で本学のノウハウを中小企業へ展開しようということも行っているところである。また沖縄産学官協働人材育成円卓会議では、企業が求めている人材像と大学が育成しようとしている人材像のずれを、互いに理解し近づけていく努力を行っている。

○今年度に 100 人論文紹介を行ったと思うが、どの計画の発展形になるのか。

→計画に該当しない独自の取り組みになっている。昨年度は学内、今年度は学外で実施した。多くのコメントがあり、それらを相互につなげるような形で動いており、新たな事業等が生まれることを期待している。

審議の結果、原案のとおり了承され、その後の軽微な修正については議長に一任された。

(2) 琉球大学における令和 7 年度概算要求について

大城理事から、資料に基づき提案説明があった。

審議の結果、原案のとおり了承された。

(3) 令和 5 年度決算 (案) について

大城理事から、資料に基づき提案説明があった。

審議の結果、原案のとおり了承された。

(4) 大学病院改革プランの策定について

大屋理事から、資料に基づき提案説明があった。
審議の結果、原案のとおり了承された。

報 告 事 項

(1) 令和5年度卒業生・修了者の進路状況について

石原理事から、資料に基づき報告があった。
学外委員との間で以下のような質疑応答があった。
○資料6、進路状況調査でのグラフは何を意図として作成しているのか、未回答だった方が個別連絡後に改善していることを示しているのか。
→そのとおり。本学の努力すべき点を明確にしようという意図もあった。

(2) 上原キャンパス移転の進捗状況について

大屋理事から、資料に基づき報告があった。

(3) 上原キャンパス跡地利用推進計画(案)について

福治理事から、資料に基づき報告があった。

(4) 令和5年度実施大学機関別認証評価評価結果について

木暮理事から、資料に基づき報告があった。

(5) 法曹養成連携協定（法曹コース3+2）の認定について

石原理事から、資料に基づき報告があった。

(6) 国立大学法人琉球大学役員報酬規程の一部改正について

西田学長から、資料に基づき報告があった。

(7) 国大協理事会による声明について

西田学長から、資料に基づき報告があった。

懇 談 事 項

なし